



2011～2012年度 ROTARY CLUB OF TOYOKAWA HOI CLUB WEEKLY

やらまいか

例会日 / 毎週火曜日 12:30 例会場 / 豊川商工会議所 会長 / 山城康司 幹事 / 滝下 勲 会報委員長 / 土井昌司
事務局 / 豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内 0533-86-2535 Fax0533-86-8889 HP / <http://toyokawahoi.tank.jp>

クラブテーマ：心と身体を健康に

本年度第4回 通算1212回 平成23年7月26日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	7/12 修正出席率
		55名	49名	55.1%	82.7%

ゲスト：市内6高校 生徒28名 教諭6名 ビジター：(なし)

会長あいさつ

山城康司会長



こんにちは。今日は市内の高校生の皆さんに来て頂きました。このボラン・コラボ穂の国7は、2007年4月に発足して、今年が6年度目

に入りました。この活動は、来年、再来年と継続をしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願います。また、本日出席されている豊川高校さんは、高校野球の愛知県大会で勝ち進んでベスト16です。こちら頑張ってください。

幹事報告

滝下 勲幹事

例会臨時変更のお知らせ

新世代奉仕委員会担当例会

委員長あいさつ

鈴木啓仁委員長



こんにちは。今日は、ボラン・コラボ穂の国7の活動発表ということで担当例会を行うご案内をさせていただきましたところ、

各校の先生方をはじめ生徒の皆さんには大勢お集まり頂きましてありがとうございます。今回は、12時から始めて、食事をゆっくり取りながら、高校生の皆さんとロータリーメンバーと会話をして頂こうということで企画をさせて頂きましたが如何だったでしょうか。少しロータリーメンバーが少なく残念ではありましたが、生徒さんがゆっくり食事を取

れたことは良かったと思います。

今年は、3月11日に東日本大震災があり、大変多くの方がお亡くなりになりました。先の見えない状態の中で被災された方が大変多く生活をされているという状態が未だに続いています。聞くところによりますと、復興するまでに15年20年掛かるのではないかとテレビ、ラジオ、新聞等で聞きます。その間、現地に行ってボランティア活動をしている方もたくさんいますけれども、それが出来ない方もたくさんいると思います。そんな中で、私たちがボランティアとして、この地域からどんな応援支援が出来るのかということも考えながら、これから15年20年とやっていかなければならないと思っています。継続することとは大変なことで、今日のボラン・コラボ穂の国7の活動も6年目を向かえることが出来ました。継続することは大きな力になっていきますので、今日の各学校の様々なボランティア活動を続けてきた報告を聞きながら、ロータリーメンバーは更にボランティア精神に磨きをかけて頂いて、これからのボランティアに力を注いで頂ければと思っておりますので、どうぞ、ご静聴よろしく願います。

小坂井高校の発表

小坂井高校のボランティアの報告と計画について発表します。本年度は、昨年度同様に



5月に豊橋動植物公園で行われた善意フェスティバルに約20名の生徒が参加しました。福祉施設や慈善団体の人たちと共にゲームコーナーの運営や模擬店や野外ステージなどを見学したり、遊んだりしました。お年寄りの方や障害のある方遊ぶことは、あまり無いので貴重な体験となりました。この夏休みには、豊橋善意銀行主催のボランティア活動に参加する予定です。このボランティアでは、児童養護施設や老人福祉施設の入所者との交流といった活動を行います。2学期には文化祭があり、小坂井地区の授産施設のもくせいの花の方々を招待します。クラス企画のバザーで出た収益を善意銀行に寄付しています。12月の期末テストの最終日には、生徒会活動の一環として校内や通学路、学校周辺の清掃活動を行います。この行事をクリーン大作戦と呼んで部活動を中心に多くの生徒が参加してくれています。クリーン大作戦を行うことで小坂井高校が地域に少しでも貢献できたら良いと思います。3学期には赤い羽根共同募金に参加します。ここで集まったお金は、赤い羽根共同募金会を通じて、恵まれない人たちの為に使われます。小坂井高校には、ボランティア部がないため、このような活動は生徒会が中心となって行っています。全校の生徒には校内放送やポスター、生徒会通信などを通じて呼び掛けを行っています。生徒会活動を平行して行っているため、そんなに多くの活動が出来ません。ですが、少しでも多くの人に役立てるように努力しています。

豊川高校の発表



私たちは、6月10、11、12日の3日間、宮城県に震災ボランティアに行きました。教員3名、生徒会5名、学

園祭執行部2名、登山部4名、放映部1名、一般1名の16名が参加しました。

震災ボランティアに行った時の映像をご覧ください(ボランティア作業の様子を映像視聴)

作業の主な内容について説明をします。宮城県石巻市の避難所になっている牡鹿斎場では、約130食の海藻サラダを作り、避難所付

近の役場にも提供をしました。また避難所の掃除をして、最後には避難所の方々と写真も撮りました。その時、被災者の方に「高校生から元気をもらいました。ありがとうね。」と言って頂いたので、自分たち高校生でも力になれたと思い達成感を得ました。

次に、石巻市鮎川浜の土産物店では、ガレキ撤去を行いました。映像にもあったように、とても悲惨な状態でした。可燃物やガラスの破片、電化製品など、色んなものが散乱していました。またガレキの中には、当時売られていた鯨のひげなどあり、思い出の品があり、地震の悲惨さを物語っていました。作業は、臭いもきつく大変でしたが、精一杯頑張りました。作業を終えてから、震災から3ヶ月の日でもあったので、みんなで黙祷を捧げました。

最後に作業をした被災者の畑では、津波で畑に流れてきたガレキの撤去を行いました。冷蔵庫や船のスクリューなど様々なものがありました。ガレキ撤去を終えると被災者の方が涙を流しながら、一人ひとりの握手と感謝の言葉を掛けてくれました。

今回の震災ボランティアを通して、被災地の景色は、自分が思っていた以上に悲惨でした。少しでも力になれば良いと思い参加しましたが、実際の作業は、あまり時間も無く、被災者の方々に気を使って頂くばかりで、正直、力になれなかったと思います。次に参加する機会があれば、反省を活かし、もっとたくさんの方の役に立てるように頑張りたいです。

宝陵高校の発表



私たちの学校では、昨年度をもってボランティア部が廃止になり、その活動は生徒会に受け継がれることにな

りました。ボランティア部の伝統的な活動を受け継ぐと共に、新たな活動にも取り組むようになりました。

4月23日24日には、豊橋駅であしなが学生募金の活動に参加しました。今回の募金は、東日本大震災の遺児の奨学金のためのもので

した。4月23日には9名が参加し、24日には6名が参加しました。募金活動の経験者もいたので、大きな声で呼掛け、大勢の人に協力して頂きました。

夏休み中には、多くの施設の夏祭りや納涼祭のボランティア活動に参加します。主なものとしては、特別養護老人ホーム穂の国荘夏祭り、ケアハウスみその夏祭り、しんさかえケアセンターその風夏祭り、豊川老人保健施設ケアリゾートオリーブ夏祭り、コスモスの里納涼祭、千両荘納涼会、ゆうあいの里夏祭りなどです。会場では、模擬店の準備や運営、片付けなどをして、利用者の方々の介護のお手伝いをします。

8月7日には、豊川平和祈念式典のボランティア活動に参加します。

ボランティア部の活動の一つでもあった学童保育の支援にも出掛けます。草原や小川など豊かな自然の中で活動でき、とても楽しい活動です。

生徒会のエコキャップ運動も引き続き行われており、多くの生徒の協力を得ています。

秋には、このような様々な活動をまとめたものを文化祭で発表したいと思っています。一人でも多くの生徒がボランティア活動に参加できるように呼びかけ、ボランティア精神の豊かな学校を築いていきたいと思ひます。

豊川工業高校の発表



豊川工業高校の活動を発表します。ボランティア部の部員は、3年生が4名、2年生が4名、1年生12名の

20名で活動をしています。主な活動内容は、キャンドルナイトに向けて準備、校外での活動は、子どもものづくり教室、地域のお祭りでのボランティア活動に参加させてもらっています。

キャンドルナイトとは、我々ボランティア部が独自に企画し、年に一度開催しているイベントです。約2000本のキャンドルを使って一つの文字を描いて、その文字に込められた想いを伝えています。キャンドルナイトで使用するかぼちゃの栽培を今年から始めました。

畑を耕すところから始めて、今はかぼちゃのつぼみが出てきました。このかぼちゃは食用ではないので、収穫したら中身をくり抜いてロウソクを入れるかぼちゃランプにします。

海で貝殻を拾って、何度も洗って綺麗にしてキャンドルナイトの材料にします。貝殻を拾うのと同時に海浜清掃も行いました。ボランティア部は、人との繋がりや自然を大切にすることをテーマにしていますので、このようなことも行っています。

子ども物づくり教室を行っています。月に一度、ぎょぎょランドで子どもたちに工作を教える教室です。この教室にボランティア部も講師として参加させてもらっています。直接子どもたちと交流し、とても貴重な体験をさせてもらっています。

今後の活動としては、キャンドルナイトが去年よりも素晴らしいものになるように活動を頑張っていきます。

国府高校の発表



国府高校では、今年も私たち生徒会が中心となりボランティア活動を展開します。内容も例年通り5月に

ゆうあいの里ふれあいセンターでの除草作業を、11月には赤い羽根共同募金活動を、12月には普段私たちが使用している通学路をはじめとする学校周辺の清掃活動をそれぞれ予定しています。また2月には、吹奏楽部の皆さんを中心に、学校近隣地区の行事である「国府の市」の運営に部活動単位で参加補助をすることも予定しています。これらの活動は、いずれも例年通りの活動ということでマンネリ化しているようにもとらえられるかもしれませんが、私たちは毎年、同じボランティア活動を、活動内容の質を上げつつ繰り返し行うことで、地域とのつながりも深まると考えます。そのため、今年も例年通りの活動を内容的に去年よりグレードアップして行い、地域とのつながりも去年よりグレードアップしていくように頑張ります。

5月19日に活動を行った、ゆうあいの里ふれあいセンターでの除草作業について報告させ

て頂きます。ゆうあいの里ふれあいセンターは、豊川市内にある高齢者の方を中心にレクリエーションや入浴などを楽しむことが出来る福祉施設です。今回の除草作業は、施設周辺を中心に参加者で作業を分担したので、参加者全員が責任感を持って活動出来たと思います。その日は、汗がにじむ暑さの中での作業となりましたが、参加者全員で協力し、次第に雑草が刈られさっぱりしていく様子に、私たち自身、この作業に対する達成感を得ることができました。この作業を通して参加者同士はもちろんのこと、施設の方ともふれあうことが出来ました。

しかし、課題も出来ました。作業を行うにあたり、校内の生徒から有志を募ったのですが、もっと多くの生徒に参加、経験をしてもらうためにはどのような呼掛けをしていくかということです。そこで、今回、活動記録用写真の撮影を兼ねて、実際に除草作業にも加わってくれました写真部の皆さんの協力により、作業風景の写真と説明文を掲載したポスターを、校内の複数の場所に掲示しました。この試みが具体的なボランティア活動の内容を知り、興味を持ってもらう機会になると共に、次回のボランティア活動の有志募集の際に、良い方向に生きて来ることができればと思います。

この除草作業のボランティア活動を通じて、私たちは、本当の「おもいやり」について考えてみる事が出来ました。相手の立場になり、じっくり考えることで、今、本当に私たちに求められるものは何であるのか、何をすべきなのかということが見えてくるのだと思います。現実には、高校生の私たちに出来ることは限られているかもしれませんが、しかし、その中でも、生徒会を中心とするボランティア活動を通して、私たちが「今、できること」と「今、すべきこと」の重なりを一つでも見つけられるきっかけになれば良いと思います。



御津高校の発表



私たちのボランティア活動予定を報告します。

昨年から続けているエコキャップについて報告しま

す。学校全体でエコキャップを集めています。エコキャップ 800 個でワクチン 1 つに替えることができます。今集まっているエコキャップの数は約 106 万個です。一人ひとりの少しの努力で、たくさんの命が助かります。これからも、このような活動を行っていきたいと思います。

次にメール交流について報告します。以前から聾学校の皆さんと交流がありました。昨年度は、世界で一つだけの花の手話体験、大きな共同絵画を作成しました。今年も交流を広げようと思い、学校のパソコンを使ってメール交流を始めました。耳は聞き取りにくくても、メールなら同じ高校生として交流できます。送受信したメールは、文化祭で展示し交流を広げる予定です。

次にワールドボランティアについて報告します。私たちボランティア部では、ワールドボランティアという掲示を月に 1 回発行しています。内容は、ユニセフについてや有名人のボランティアなど、世界で行われているボランティアの紹介です。最近、東日本大震災についても書きました。好評なので、これからも続けていきたいと思います。

次に善意フェスティバルについて報告します。このフェスティバルは、ハンディキャップを持った方と高校生と一緒に行動し、ふれあうことで理解と友愛を目指しています。善意フェスティバルが 6 月 5 日に豊橋動植物園で行われました。ゲームのお手伝いをするグループと、岩崎学園の子どもたちとゲームをして回るグループに分かれました。岩崎学園の子どもたちは、すごく素直で一緒になって楽しむことが出来ました。

次に本年度から新しく初めたフラワー作戦について報告します。私たちは学校の昇降口に花の寄せ植を置いています。校内に花を置くことで、より明るくなると良いなという願いを込めています。ボランティア部で花の苗

を植え込み、一週間ずつ交替をして水やりをしています。

次にこれからの活動について報告します。夏休みは、豊橋善意銀行の高校生夏休みボランティア奉仕活動に参加します。豊橋医療センターに行き、夏を楽しむ会のお手伝い、障害がある子どもたちとグループ活動をします。文化祭では、豊川社会福祉協議会青少年ボランティア体験学習でお世話になる「点字さーくる・莓」さんと点字本の作成と点字を教えてもらいます。くすのき授産所さんには、クッキー販売をしてもらい、私たちボランティア部は、作業のお手伝いと利用者との交流を考えています。

ボラン・コラボ穂の国7交流会

例会後にボラン・コラボ穂の国7の交流会が行われました。交流会は4つのグループに分かれて、各班でテーマについて意見交換を行って交流を深めました。



交流会のテーマ

「見つけよう、自分にあったボランティア」

意見交換のまとめ発表

- 震災ボランティアに行きたいという気持ちはあるが行けないので、募金活動を行って被災地を助けることをした
- 震災の復興のボランティアも大切だけど、自分たちの住んでいる地域のボランティアが本当は大切だと思う
- ボランティア活動は身近にあって、気持ちの持ち方が大切
- 自分にあったボランティアは簡単に見つからない

- 各学校の活動は、どの活動もそれぞれが素晴らしい
- 現在、自分たちが行っている活動をこれからも継続していきたい
- テーマが難しい
- ボランティア活動は、小さなことの積み重ねから大きな活動につながる、そして継続していくことが大切
- 自分が興味を持たないと活動に参加することが出来ない
- 達成感を味わえる活動が行えることが良い

ニコニコボックス

鈴木啓仁会員 本日担当例会です

クラブ目標達成状況

会員増強・・・・・・・・・・純増0名
R財団寄付一人当たり寄付・・・・\$0

会報担当者：土井昌司会員、来山健一会員

このウィークリーは再生紙を使用しています。